

【音楽科】

1 昨年度の授業改善推進プランの検証・評価

- 演奏の工夫を児童から出てきた言葉を基に「技集」としてまとめた。「技集」を意識することで、目的意識をもって演奏できるようになり、更に細かいところまで気を配って演奏できるようになった。
- ワークシートを活用して基礎学力の定着を行い、主要教材については概ね9割の理解を得ることができた。
- △基礎基本の定着を図るため、ワークシートに加えて、個別に演奏を聴くなどして個別の支援を行う必要がある。

2 学習状況の分析と課題

	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
学習状況の分析	どの学年も音楽活動に意欲的に取り組んでいる。友達と一緒に声や音を合わせて合唱・合奏することに興味・関心が高く、より難しい課題に取り組もうとする姿が見られる。	低学年は、音楽に合わせて生き生きと身体表現をしたり拍の流れののって歌ったり演奏したりすることができた。中・高学年は、音の強弱や音色について思いや意図をもって楽曲に合った表現の工夫をしたりすることができている。	低学年の児童のほとんどが、拍ののってリズム打ちをした歌ったり演奏したりすることができている。また、中・高学年も、響きを感じながら声や音を合わせて歌ったり楽器を演奏したりすることができている。	低学年は、音楽の気分を感じ取り拍ののって身体を動かすことができた。また、中・高学年は、音楽を聴いて今までの経験を基に比べたり、楽器の音色や曲の速さから曲想を感じ取ったりすることができる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「鑑賞」の学習では、音楽を聴いて感じ取ったことを共通事項を手掛かりにして音楽の言葉で表現できるよう指導することが必要である。 ・「音楽表現の創意工夫」については、どんな演奏にしたいのか思いや意図を既習事項を生かして具体的にもてるようにすることが必要である。 			

3 授業の具体的な改善策

教科目標	<p>新学習指導要領の教科の目標</p> <p>表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感情を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
全体	<p>主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <p>○主体的に音楽活動を行えるようにするために演奏前に、どんなふうに演奏したいのか自分のめあてをもち、表現できるよう指導する。</p> <p>○どんなふうに演奏したいのか思いをもてるように既習事項を生かした「技集」を利用する。</p> <p>○対話的で深い学びになるように友達との演奏を聴き合ったり、めあてが達成できているかを演奏して確かめたりする活動を取り入れる。</p>
学年段階別改善策	
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムを覚えたり階名唱をしたりすることを楽しくできる「音楽遊び」を取り入れた学習を行う。鍵盤ハーモニカの指使いやタンギングなど、継続して取り組ませるようにする。(知識及び技能) ・輪唱やふしを追いかける曲、身体表現、リズム遊びなど、多様な楽曲を取り入れ、曲想を感じ取って楽しく伸び伸びと表現できるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ・身体表現やリズム遊びを取り入れて、より多くの学習体験ができるようにする。声や音を合わせて歌ったり演奏したりする楽しさを味わえるようにする。(学びに向かう力、人間性等)
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律を味わって表現できるような楽曲を多く取り入れて、音色や強弱など意図をもって音楽表現できるようにする。(知識及び技能) ・鑑賞と音楽表現を結び付けて、聴き取ったことと感じ取ったことの間を考えられるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ・合唱曲や合奏曲を通して、音の重なりを味わいながら意欲的に音楽活動を行っていきけるようにする。(学びに向かう力、人間性等)
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験を基に楽曲を分析して、表現を工夫して音楽表現できるようにする。(知識及び技能) ・鑑賞と音楽表現を結び付けて、聴き取ったことと感じ取ったことの間を、共通事項を手掛かりに言語表現できるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ・合唱曲や合奏曲を通して、自分が目指す音楽を実現するために意欲的に音楽活動を深めていきけるようにする。(学びに向かう力、人間性等)